



2018年5月31日

各 位

会 社 名 株式会社 東芝  
東京都港区芝浦1-1-1  
代表者名 代表執行役社長 綱川 智  
(コード番号: 6502 東、名)  
問合せ先 執行役常務 長谷川 直人  
Tel 03-3457-2100

当社海外子会社のテキサス州原子力プラント建設プロジェクトからの撤退に関するお知らせ

当社は、2018年5月31日開催の当社取締役会において、当社の米国連結子会社 Toshiba America Nuclear Energy Corporation 社(以下、TANE)が、米国テキサス州における South Texas Project 発電所 3号機、4号機の改良型沸騰水型原子炉(以下、ABWR)原子力プラントの建設工事プロジェクト(以下、STP)から撤退することを決議しましたので、下記の通りお知らせいたします。当社は、今後、関係者との調整を進め、早期の撤退完了を目指してまいります。

## 記

### 1. 事業撤退の理由

当社は、2008年3月26日にTANEを通じて、米国の総合発電事業者であるNRG Energy, Inc. (以下、NRG)と米国電力会社であるCPS Energy社(テキサス州サンアントニオ市)がテキサス州で計画していたSTP、及び北米におけるABWR共同事業開発を目的にNRGとABWR開発会社(後にニュークリア・イノベーション・ノース・アメリカ社(以下NINA社)へ社名変更)を設立することに合意しました。また、TANEは正式にSTPの主契約者として2009年2月24日にNINA代理人とプラント建設一括請負(以下、EPC)契約を締結すると同時に、本プロジェクトに納入する一部の主要部品に対する繰延融資契約を締結し、STPの準備を進めました。

しかしその後のシェール革命による米国における電力価格の大幅低下、東日本大震災後の原子力規制強化の流れなどから、プロジェクトの蓋然性が低下しておりました。

直近でも、電力市場価格の回復が見込めない一方で、プロジェクト維持のためのコストが継続的に発生していること、また米国原子力規制委員会より建設運転一括許可(COL<sup>注</sup>)を2016年2月に取得した後も、STPへの新規の資金提供者が現れていない事等から、当社として事業採算性の確保に目途が立たず、今般、STPから完全に撤退することとし、NINA社設立契約、EPC契約、繰延融資契約も同時に解除し、融資契約における債権放棄を行うことを決議いたしました。

本日の決議を受けて、今後NINA取締役会を開催し、NRGと共に撤退に向けた調整を進めてまいります。

当社は原子力事業について、海外建設リスクの遮断という基本方針の下、海外における建設案件プロジェクトから撤退する方針であり、今回の決定もその一環となります。

## 2. 事業から撤退する子会社の概要

(1)名称	Toshiba America Nuclear Energy Corporation
(2)所在地	3735 Glen Lake Drive, Suite 200, Charlotte, NC 28208, U.S.A
(3)代表者の役職・氏名	President & CEO 加納 健二
(4)事業内容	A BWR 建設、拡販、既設プラント保守・保全サービス、4 S 拡販
(5)資本金	676 ドル (約 7 万円)

## 3. 日程

2018 年 5 月 31 日 当社取締役会決議

2018 年末 撤退完了 (予定)

## 4. 今後の見通し

TANE は NINA に対して、2018 年 5 月 31 日時点で 641 百万ドル (約 701 億円) の債権および 147 百万ドル (約 161 億円) の出資持分を有しておりますが、ほぼ全額について 2017 年度決算までに貸倒引当金および減損損失を計上済みであり、当社が 2018 年 5 月 15 日付で公表した 2018 年度連結業績見通しへの影響は軽微です。

注 : COL (Combined License)

以 上